

## 国府台病院「眼科」後期研修（レジデント）プログラム

### プログラムの目標

当院の眼科後期臨床研修プログラムの目標は、眼科医としての素養を広く修得することに加え、日本眼科学会専門医の取得としています。このため、当プログラムの研修期間は4年間とし、日本眼科学会の専門医修練カリキュラムに準じた内容となっています。4年間の後期臨床研修プログラム終了後は希望により常勤医としての採用も考慮されます。

当科は日本眼科学会専門医制度認定研修施設です。

### プログラムの特徴

- 1) 屈折異常、外眼部疾患、白内障、緑内障、ブドウ膜炎、網膜硝子体疾患、小児眼科疾患、神経眼科疾患など、幅広く診断、治療しています。
- 2) 白内障、網膜硝子体疾患、斜視、緑内障、眼瞼下垂など主な眼科領域の手術を、偏りなく行っています。
- 3) 知的障害、精神障害、身体障害など、一般の外来に受診し難い患者さんを他科と連携しながら受け入れています。症例数が豊富で、難症例が多いです。

### 4年間の研修

#### 1年目

眼科研修の初期には、指導医のマンツーマンの指導を受けます。検査の基本である屈折、視力、視野検査を自ら行い習熟し、細隙灯検査、眼底検査、蛍光造影検査、OCT検査を習熟し、早期より外来診療を指導医のもとで担当します。手術では豚眼実習を行い、白内障手術にパート参加し、早期の先発完投を目指します。外眼部手術、斜視手術を習得します。虹彩光凝固、後発白内障、YAG切開、網膜光凝固を習熟します。それぞれの分野のスペシャリストからクルーズを受け知識の整理を行います。学会発表、論文作成も積極的に指導します。

#### 2年目

下記のいずれの日本眼科学会専門医制度認定基幹研修施設で研修を受けます。

国立国際医療研究センター病院眼科

順天堂大学浦安病院眼科

#### 3年目、4年目

1年目、2年目で修得した医療行為、検査、治療のブラッシュアップの繰り返しをしつつ、網膜硝子体

手術を習得します。後輩指導に当たり、学会発表、論文作成も定期的に行います。専門医受験合格を目指します。

以下のカンファランスが定期的に行われています。

術前カンファランス

眼科スタッフ勉強会

眼科院内症例検討会

国府台病院オープンカンファランス

指導責任者

柴 玉珠